

図書館だより

5月 NO26 元. 5. 24
市川市立妙典中学校図書館

1年生の皆さん、中学校生活はいかがですか？ 体育祭の練習、予行、本番を通じて表情もだいぶ中学生らしくなってきました。2・3年生の皆さん、上級生としての自覚ができましたか？ 皆さん、きっと気持ちを新たに、張り切って毎日をご過ごしていることでしょう。

先日の体育祭は、令和元年のスタートダッシュにはずみとなった素晴らしい体育祭でした。皆さんの練習の積み上げによる成果と「クラス・学年・赤白チームの『心をひとつにした団結』と「元気澁澁（はつらつ）な競技」を見て、感動と元気を貰いました。

さて、図書館も開館してちょうど1ヶ月が過ぎました。昼休み時間や放課後に来館して本を探したり、読書をしている姿も随分多くなってきました。本（図書）の貸出しも活発になってきています。

少し慣れてきたところで、図書館の役割を（再）確認しようと思います。

学校図書館とは・・・

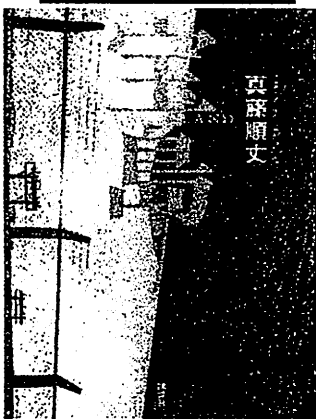


- ①「学習に必要な資料が置いてある」……授業で出された課題を調べる時、利用する場所
予習や復習をする時に利用する場所です。
- ②「新しい知識や情報が手にはいる」……知りたいこと、やってみたいことなどの情報を探
ることができる場所です。
- ③「読書を通して豊かな心を養う」……心に残る本に出会ったり、友達と共通の楽しみが
得られる場所です。

以上、3つの働きを兼ね備えています。皆さんが一日の大半を過ごす学校に、図書館はなくてはならない存在です。能率よく、効果的な学習や読書をするために、お互いに「図書館のマナー」や「きまり」をきちんと守って気持ちよく過ごせるようにしましょう。

図書館からのおススメの本

書名：宝島



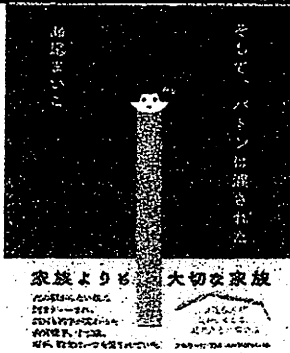
2018年度下半期直木賞

出版社：講談社
著者：上田 岳弘
内容紹介：

約20年にわたる戦後沖縄の歴史を背景に、3人の若者が歩んだ人生にエネルギーを込めて書かれた小説です。あらすじは米軍施設から物資を奪って生活の糧とした「戦果アギヤー」（戦果をあげる者）の若者たちを中心とする群像劇になっています。固いきずなで結ばれた幼なじみの「オン（その恋人のヤマコ）」「レイ」「グスク」の3人が立ち上がり、彼らは、警官になり、小学校教師になり、ヤクザになり同じ夢に向かって……。青春小説・冒険小説・恋愛小説が混ざった総合小説のような感じもします。山田風太郎賞に続き、第160回直木賞受賞、沖縄書店大賞受賞の3冠を達成した作品です。

■ 次に、「2019年本屋大賞」受賞作品の本を3冊、紹介します。

書名: そして、パトンは滅された



本屋大賞第1位

- ・出版社:文藝春秋
- ・著者:瀬尾 まいこ
- ・内容紹介:

父親が3人、母親が2人と、血のつながらない親の間をリレーされ、4回も苗字が変わった17歳の森宮優子が主人公です。…だけど、いつでも両親を愛して、愛されていた…。身近な人が愛おしくなる優しい物語です。又、料理が美味しそうに、そして、「食べること、生きること」が密接に結びついているのも素敵に表現されています。「明日が2つになる。」という素敵な言葉もあり、主人公を取り巻く周囲の優しい物語に、読んでいて暖かい気持ちになる小説です。図書館の「新着図書コーナー」に置いて貸出しています。

書名: ひと



本屋大賞第2位

- ・出版社:祥伝社
- ・著者:小野寺 史宜
- ・内容紹介:

一言で紹介するとしたら、「激しく胸を打つ、青さはじける青春小説」と言う感じがする本です。交通事故で急死した父。その後、女でひとつ、学食で働きながら、大学まで進学させてくれた母。その母が急死し、(主人公の)柏木聖輔は、20歳の秋に、たった1人になり、大学を中退し、学費も払えなくなり、仕事を探さなければと思いつつ、動き出せない日々が続き…。そんなある日の午後、空腹に負けて吸い寄せられた商店街の惣菜(そうざい)屋で、買おうとしていた最後に残った50円のコロツケを見知らぬおばあさんに譲った。…それが運命を変えとも知らずに…。未来に光が射してくる今後の展開に興味を持った人は、是非、読んでみてください。

書名: 熱帯



本屋大賞第4位

- ・出版社:文藝春秋
- ・著者:森見 登美彦
- ・内容紹介:

「汝(なんじ)にかかわりなきことを語るなかれ…」。この謎めいた警句から始まる一冊の本「熱帯」。ある日、沈黙読書会で見かけた奇妙な本が、その「熱帯」(の本)でした。沈黙読書会で、この本の秘密を知る女性と出会い、そこで彼女が口にしたセリフ「この本を最後まで読んだ人間はいないんです。」と言ったこの言葉の真意とは何か? 秘密を解き明かす為に、結末を求めてメンバーが集結して、世紀の謎に挑む小説です。前半はミステリー、後半はSF的な印象がありますが、妙に心ひかれる本で、少し不思議な怪作かもしれません。中学生には、少し難解かも知れませんが、興味のある人は、チャレンジして読んでみてください。

■ 図書委員会の「仕事(内容)」の紹介

図書委員は、4月16日の第1回専門委員会を皮切りに、今年度の活動を開始しました。図書委員会の具体的な仕事(内容)は、

- 図書館のカウンター当番(圖書の貸出し・返却処理等)
 - 体育祭の係シールの作成、1・2・3等賞のシール貼り
 - 図書紹介案内カード(図書委員おすすめの本の)の作成・掲示
 - 学年フロア掲示板への「図書紹介カード」の作成・掲示
 - オレンジリボンキャンペーン等特設コーナーの作成
 - しおり作成(卒業生贈呈用) ○ 図書館の室内装飾
 - 書架整理 ○ 卒業記念号(図書館だより増刊号)の先生方への原稿依頼・入力 等です。
- 平賀委員長(3-2)を中心に、図書委員(52人)全員で頑張ります。みなさん、よろしくお願いします。

